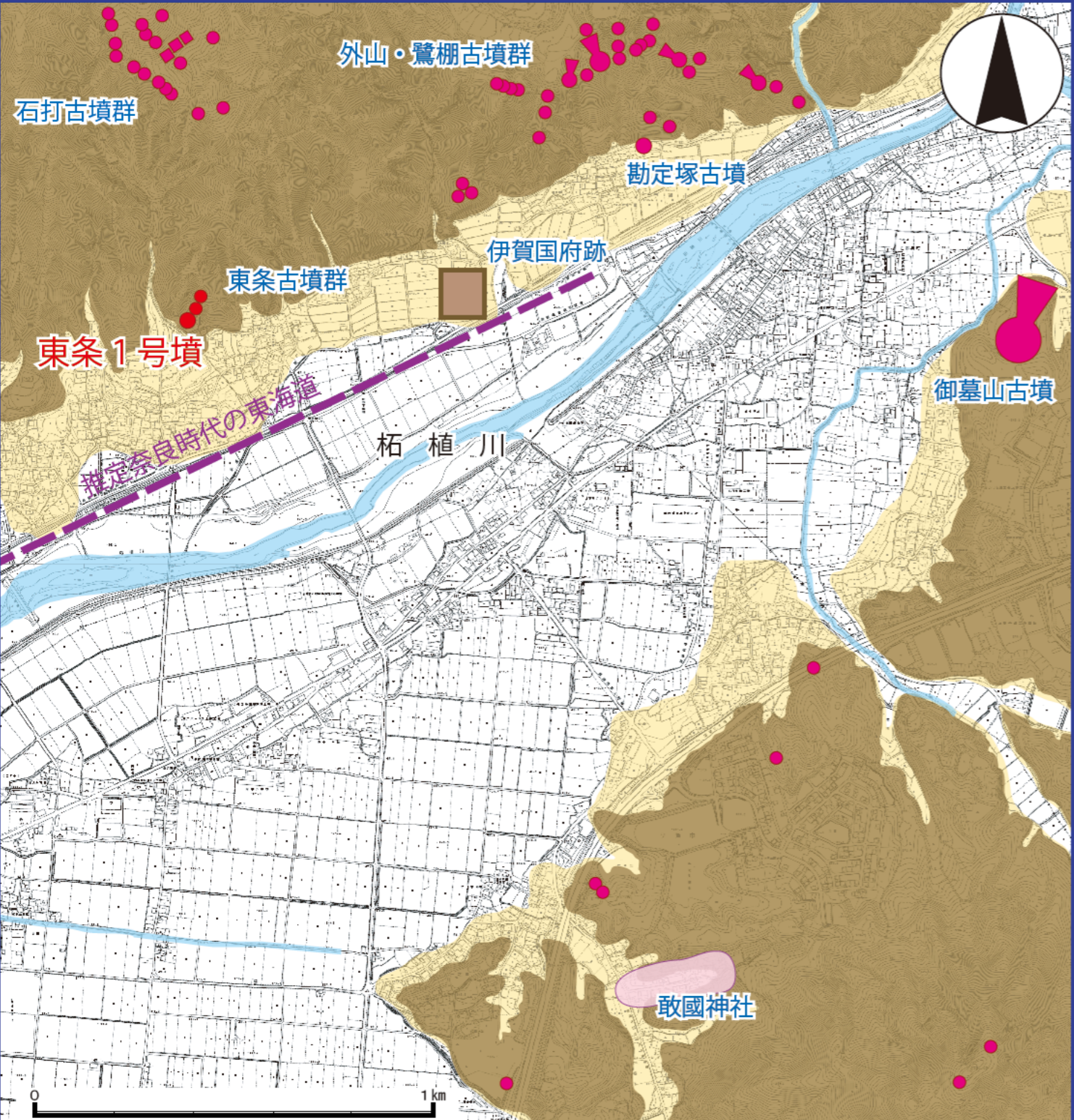


東条1号墳 発掘調査現地説明会資料

いがし ひがししょう
～伊賀市東条～



銅鏡 (四獣鏡)



ネックレス
(勾玉・碧玉)



ブレスレット
(ガラス製小玉)



勾玉
(ヒスイ製)



勾玉
(メノウ製)



ブレスレット
(銅釧)



鉄刀

東条1号墳は6世紀前半の古墳です。県営地すべり対策事業に伴い、新たに発見されました。発掘調査の結果、遺体を納めた埋葬施設が3基あり、そのうちの2基は木棺（割竹形木棺）を納めたものでした。埋葬施設1からは鉄刀・刀子と須恵器が、埋葬施設2からは四獣鏡・銅釧・石製玉類・刀子・須恵器類など豊富な副葬品がみつかりました。大変豪華なものです。

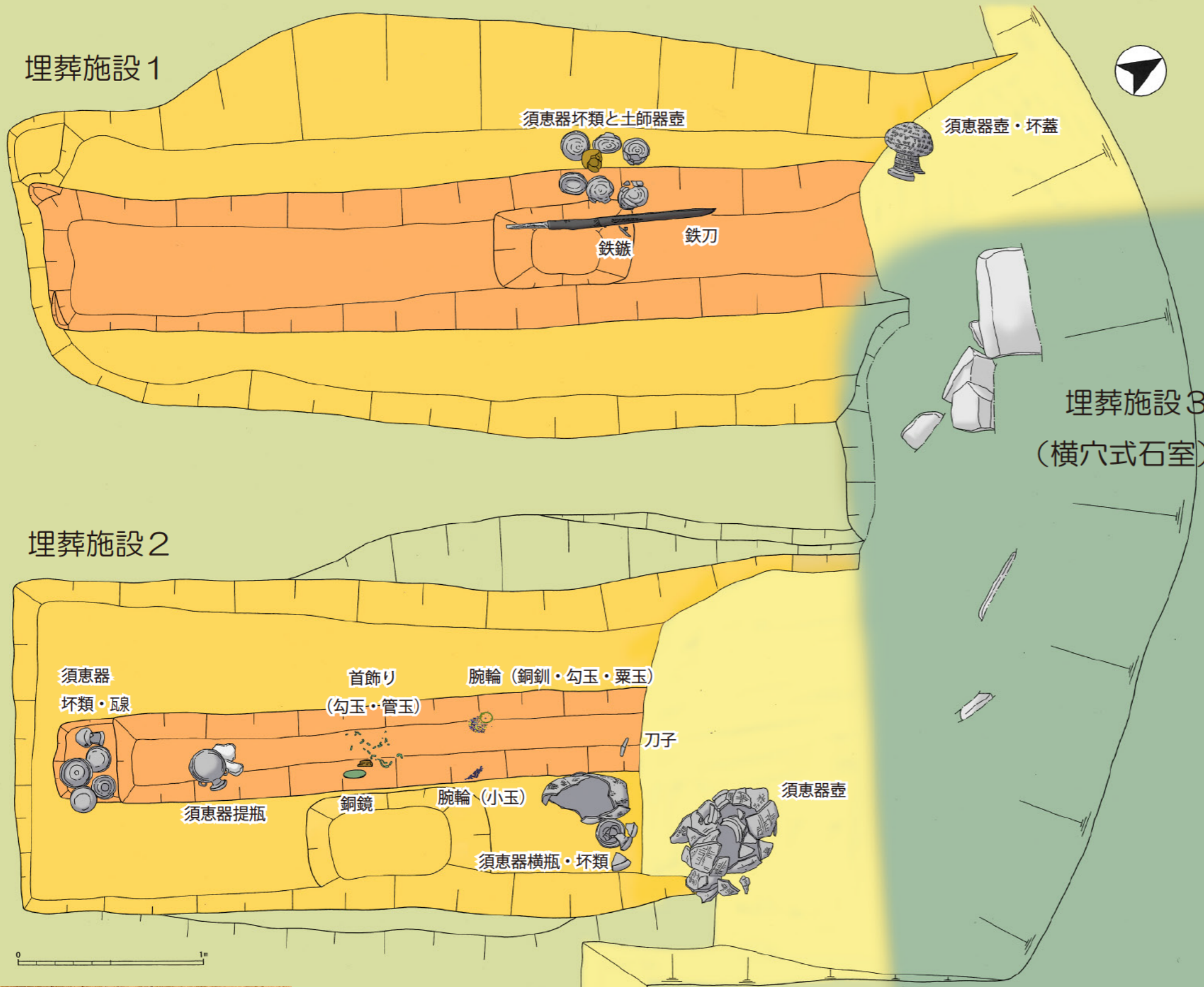
この付近には、御墓山古墳（5世紀）、伊賀国府跡（奈良・平安時代）をはじめとした重要な遺跡が多くあります。東条1号墳は、この地域を支配していたと考えられる阿閉（あえ）氏に関する古墳と考えられます。

遺跡名	東条1号墳	原因事業名	県営地すべり対策事業 府中（6期）地区
所在地	三重県伊賀市東条	調査実施機関	三重県埋蔵文化財センター
調査面積	6.2㎡	調査期間	平成24年11月26日～同年12月3日

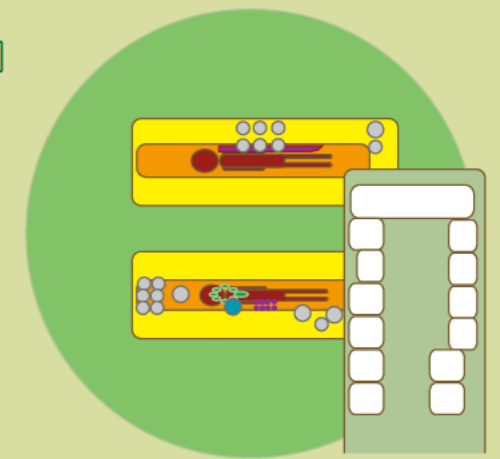
三重県埋蔵文化財センター

2012年12月16日

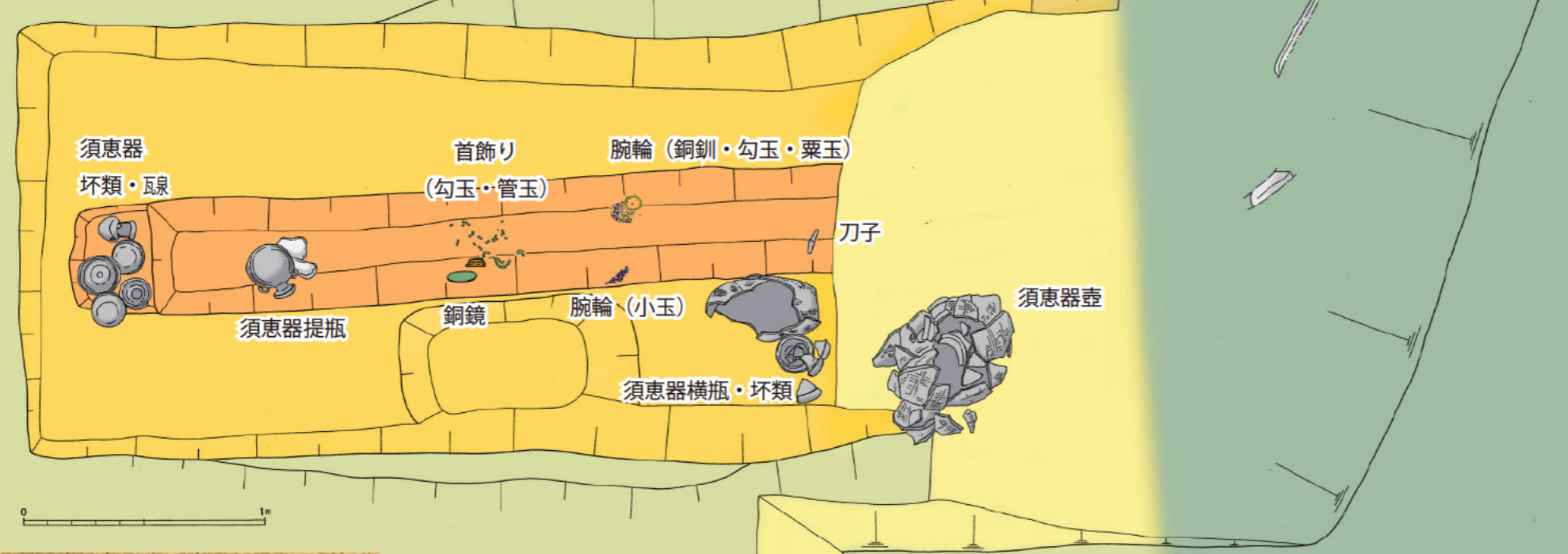
埋葬施設1



東条1号墳 模式図



埋葬施設2



埋葬施設1・2 (南から)



埋葬施設1の刀と須恵器・土師器 (東から)



埋葬施設2の須恵器 (北から)



銅鏡 (東から)



銅釧・メノウ製勾玉・ガラス製粟玉 (東から)



ヒスイ製勾玉を使った首飾り



ガラス製小玉 (南から)